

アデノウイルス検出状況(2010年～)

アデノウイルス(AD)は咽頭結膜熱(プール熱)、流行性角結膜炎、感染性胃腸炎などを引き起こすウイルスです。2010年1月以降に埼玉県衛生研究所及びさいたま市健康科学研究センターへ搬入された検体のうち、2010年は30件、2011年は28件、2012年は31件、2013年は現在までに1件の計90検体からADが検出されました。

ADが検出された90検体を臨床診断名別に見ると、咽頭結膜熱が39検体、流行性角結膜炎が8検体、感染性胃腸炎が4検体、インフルエンザが7検体、麻疹(疑い例含む)が4検体、その他の臨床診断名が28検体でした。その他には、ヘルパンギーナ、発疹症など様々な疾患が含まれています。

ウイルスの型別でみると、咽頭結膜熱ではAD1型(AD1)が2件、AD2が8件、AD3が21件、AD4が2件、AD5が3件、AD-NT(型別不明)が3件検出されました。流行性角結膜炎では、AD3が1件、AD37が3件、AD53が1件、AD56が2件、AD-NTが1件検出されました。感染性胃腸炎では、AD40/41が4件検出されました。インフルエンザでは、AD1が2件、AD3が4件、AD-NTが1件検出され、このうち4件はインフルエンザウイルスB型と重複して検出されました。麻疹では、AD2が3件、AD4が1件検出されました。

臨床診断名別アデノウイルス検出状況(2010年1月～2013年4月現在)

型	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	感染性胃腸炎	インフルエンザ	麻疹	その他	計
AD1	2			2		8	12
AD2	8				3	10	21
AD3	21	1		4		2	28
AD4	2				1	2	5
AD5	3					3	6
AD37		3					3
AD40/41			4				4
AD53		1				1	2
AD56		2					2
AD-NT*	3	1		1		2	7
計	39	8	4	7	4	28	90

* NT: 型別不明

病原体定点医療機関の先生方へ

県内での流行状況を知るためにも、積極的な検体採取に御協力をお願いします。